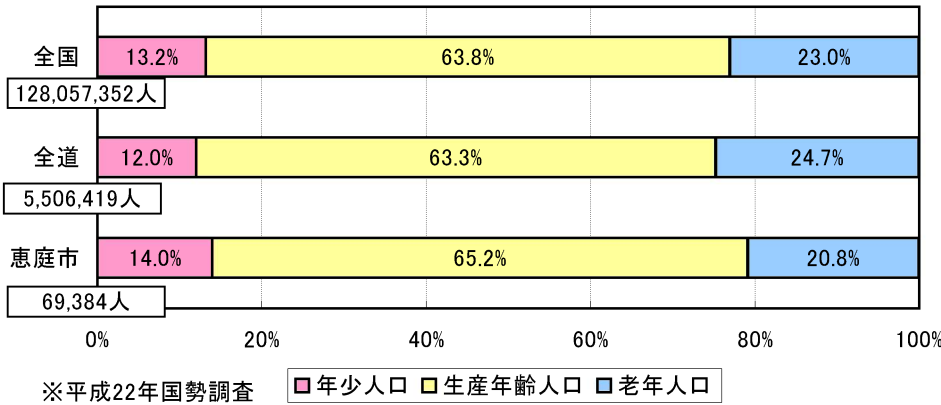


ご存知ですか？恵庭市のこと

人口

【人口構成の比較】

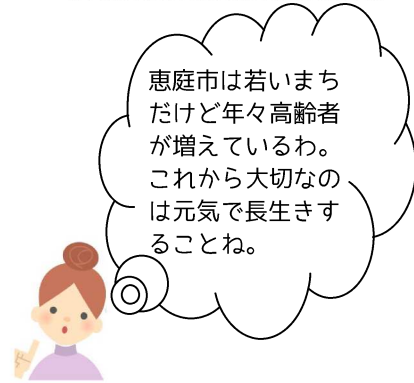


市の人口は、平成22年10月1日現在69,384人です。

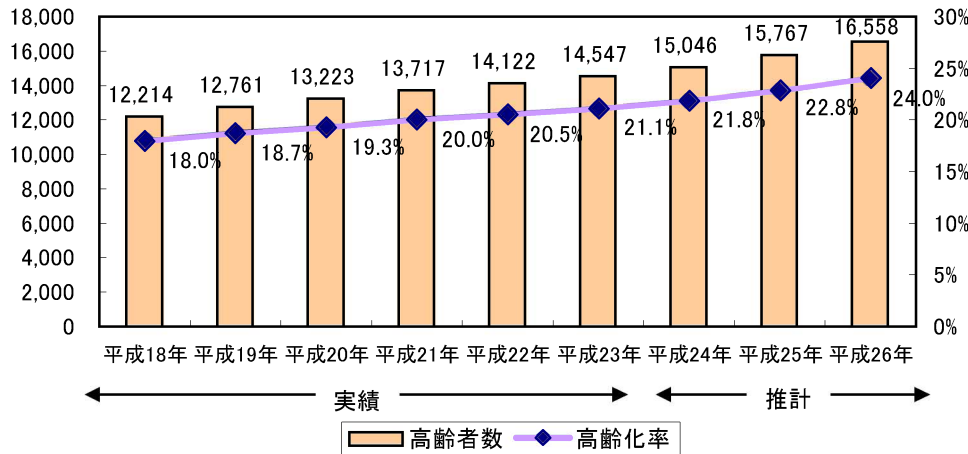
年少人口(0～14歳)は14.0%(9,690人)、生産年齢人口(15～64歳)は65.2%(45,110人)、老年人口(65歳以上)は20.8%(14,427人)となっています。

人口構成を全国、全道と比較すると、65歳以上の高齢化率は低くなっています。

市の人口は年々増加傾向にあります。生産年齢人口、年少人口ともに総人口に占める割合が減少傾向にあり、少子高齢化がますます進んでおり、今後はさらにその傾向が強まると予測されます。

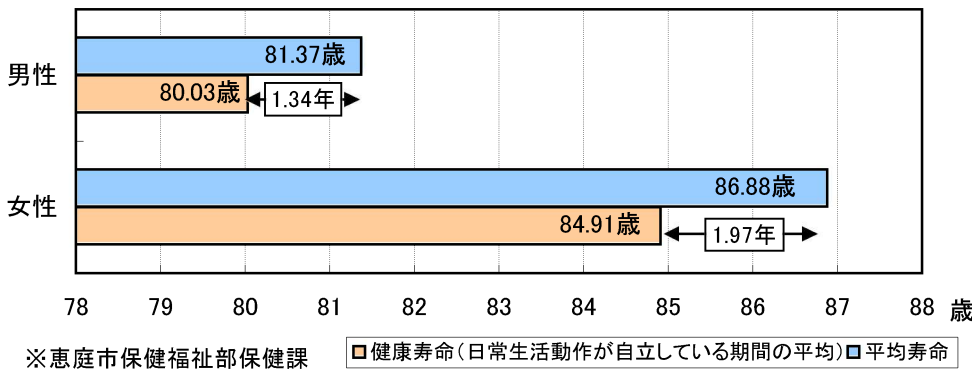


(人) 【高齢化率の推移】



寿命

【恵庭市の平均寿命と健康寿命の差】



「健康寿命の延伸」は最終的な目標となっています。

市の0歳の健康寿命は、男性80.03歳、女性84.91歳となっており、全国や全道より長くなっています。

死亡

【死亡原因】

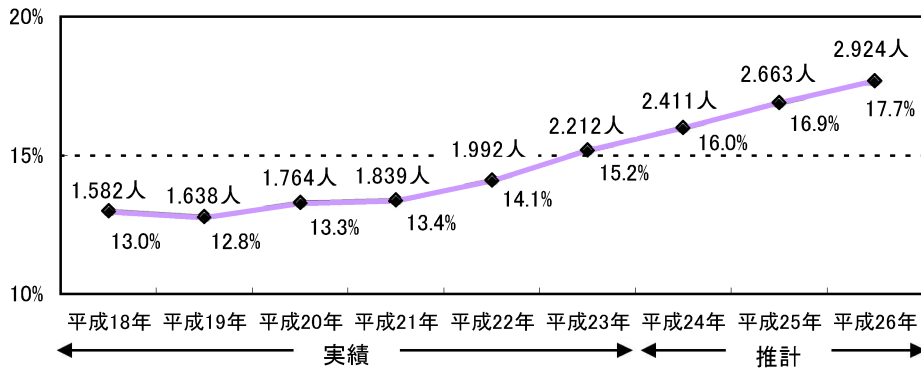
順位	全国		全道		恵庭市	
	死亡原因	死亡率 (10万対)	死亡原因	死亡率 (10万対)	死亡原因	死亡率 (10万対)
1位	悪性新生物	279.7	悪性新生物	325.2	悪性新生物	253.6
2位	心疾患	149.8	心疾患	162.8	心疾患	140.6
3位	脳血管疾患	97.7	脳血管疾患	96.4	肺炎	66.7
4位	肺炎	94.1	肺炎	96.3	脳血管疾患	47.8
5位	老衰	35.9	不慮の事故	30.3	自殺	33.3

※平成22年人口動態統計

市の平成22年の死亡総数は498人で、死亡原因は、悪性新生物、心疾患、肺炎、脳血管疾患、自殺の順に死亡率が高くなっています。全国、全道と比較すると、死亡率はいずれも低くなっていますが、自殺が高くなっています。

介護

【要介護(支援)認定率(第1号被保険者)】



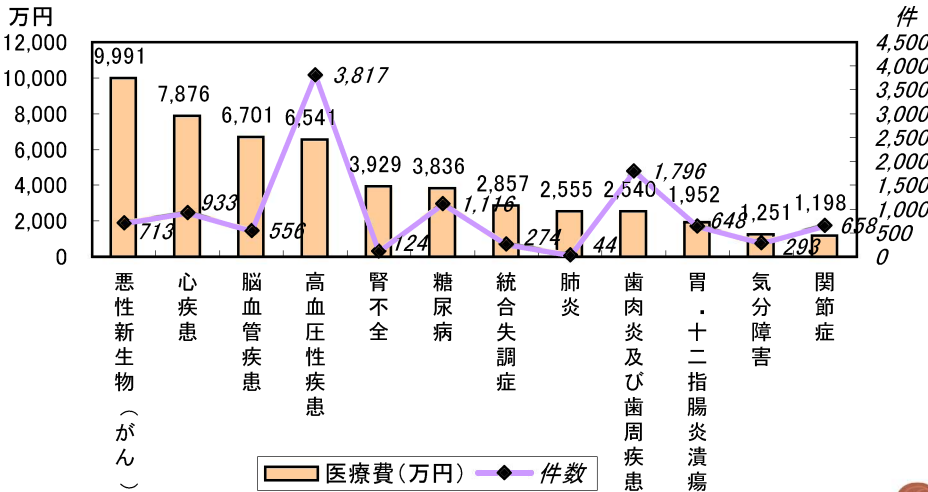
市の平成23年10月の第1号被保険者の要介護(支援)認定者数は、2,212人、認定率は15.2%です。

平成26年には2,924人、認定率は17.7%になると推計されています。

※第5期恵庭市介護保険事業計画(各年10月1日現在)

医療費

【疾患別医療費(国民健康保険・後期高齢者医療)】



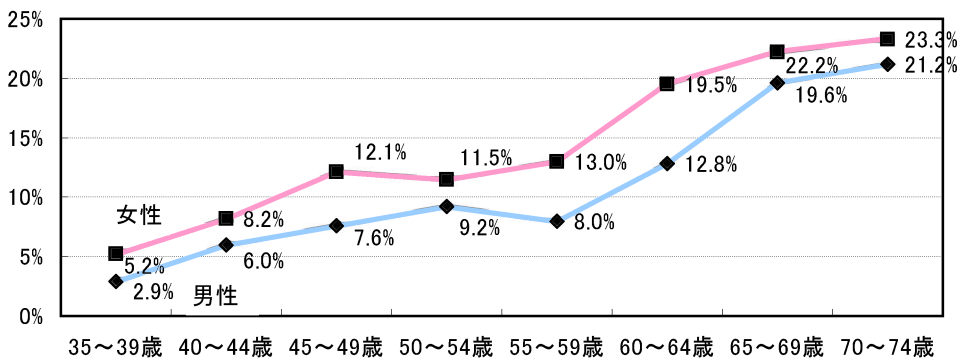
平成23年5月分の疾患別医療費の状況では、悪性新生物(がん)、心疾患、脳血管疾患などの生活習慣病によるものが上位を占めています。

生活習慣病による病気はとてもお金がかかるのね。普段からの生活習慣を見直して病気を予防しなくちゃ。年に1回の健康診断がとても大切ね。

※恵庭市保健福祉部医療給付課(平成23年5月分)

特定健康診査

【年齢階級別特定健診受診率】



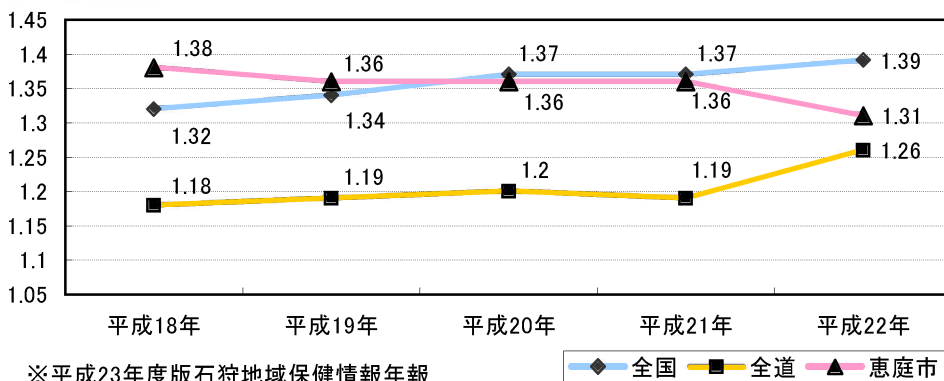
市の平成22年度特定健康診査受診率は18.0%です。

受診率を見てみると、女性よりも男性が低い傾向です。また、年齢別では30~50歳代の働きざかりで10%前後と低い傾向にあります。

※恵庭市保健福祉部国民健康保険課(平成23年5月分)

出生

【合計特殊出生率(注)】



市の平成22年の出生は545人で、人口千人に対する出生率は全道より高いものの全国と比較すると低くなっています。合計特殊出生率は、全国、全道では増加傾向にあるものの、恵庭市では減少傾向です。

※平成23年度版石狩地域保健情報年報

◆ 全国 ■ 全道 ▲ 恵庭市

(注) 合計特殊出生率 15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの。一人の女性が一生の間に生む子どもの数の推計。